

■ プリンターの設定

- プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する（Windows）
- 複数のプリンターに設定の変更を適用する（Windows）
- ウェブブラウザを使用してプリンターの設定を変更する
- プリンターの設定を確認する
- プリンターを使用してプリンター設定を変更する

プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する (Windows)

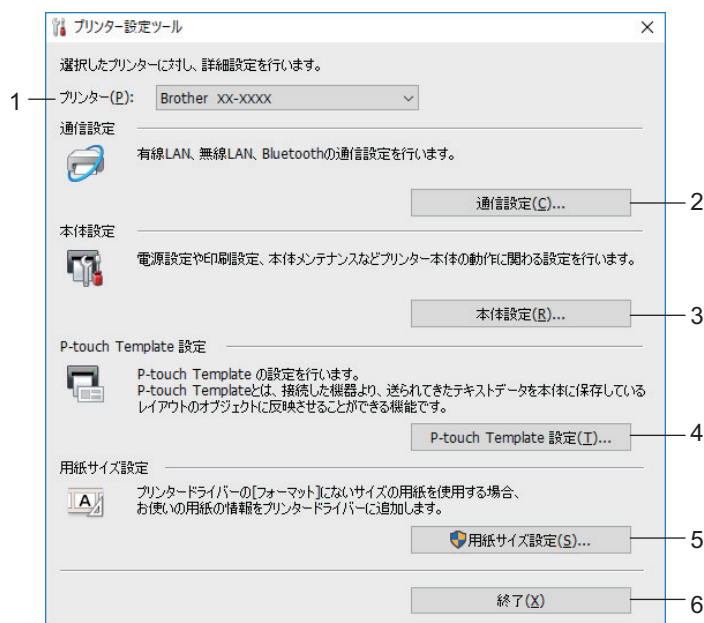
- AC アダプターがプリンターに接続されていること、AC 電源コードが AC 電源コンセントに接続されていることを確認してください。
- プリンタードライバーが正しくインストールされ、印刷できることを確認してください。
- USB ケーブルでプリンターとパソコンを接続します。



- プリンター設定ツールはインストーラーを使用すると、プリンタードライバーなどの他のソフトウェアと同時にインストールされます。
- プリンター設定ツールは、対応したブラザーのプリンターでのみ使用できます。

- 設定するプリンターをパソコンに接続します。
- プリンター設定ツールを起動します。
 - Windows 10/Windows Server 2016 の場合 :**
スタート > Brother > Printer Setting Tool をクリックします。
 - Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 :**
アプリ画面の Printer Setting Tool アイコンをクリックします。
 - Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合 :**
スタート > すべてのプログラム > Brother > Label & Mobile Printer > Printer Setting Tool をクリックします。

メイン画面が表示されます。



1. プリンター

接続されているプリンターの一覧を表示します。

2. 通信設定

有線 LAN、無線 LAN、Bluetooth の通信設定を指定します。

3. 本体設定

本体の設定を行います。例：電源設定。

4. P-touch Template 設定

P-touch Template 設定を指定します。

詳細については「P-touch テンプレートマニュアル / コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.co.jp/j/d/b4m2/) からダウンロードできます。

5. 用紙サイズ設定

プリンタードライバの**用紙サイズ**一覧にない用紙サイズを使用する場合に、用紙情報と設定をプリンタードライバに追加します。

お願い

用紙サイズ設定を開くには、管理者権限でログオンする必要があります。

6. 終了

画面を閉じます。

3. **プリンター**の横に、設定するプリンターが表示されていることを確認します。
別のプリンターが表示されている場合は、ドロップダウンリストから目的のプリンターを選択します。
4. 変更する設定を選択し、ダイアログボックスで設定を指定または変更します。
5. **設定**をクリックして、プリンターに設定を適用します。
6. メイン画面の**終了**をクリックして設定の指定を終了します。



プリンターがアイドル状態の場合のみ、プリンター設定ツールを使用してプリンターを設定します。印刷ジョブの処理中または印刷中にプリンターを設定しようとすると、誤作動する可能性があります。



関連情報

- [プリンターの設定](#)
 - [プリンター設定ツールの通信設定 \(Windows\)](#)
 - [プリンター設定ツールの本体設定 \(Windows\)](#)
 - [プリンター設定ツールの P-touch Template 設定 \(Windows\)](#)
 - [プリンター設定ツールの用紙サイズ設定 \(Windows\)](#)

プリンター設定ツールの通信設定 (Windows)

プリンターとパソコンを USB ケーブルまたは Bluetooth で接続するときに、プリンター設定ツールの通信設定を使用してプリンターの通信情報を指定または変更します。1 台のプリンターの通信設定を変更できるだけでなく、複数のプリンターに同じ設定を適用することもできます。

- >> 設定ダイアログボックス
- >> メニューバー
- >> 全般タブ
- >> 有線 LAN/無線 LAN タブ
- >> Wireless Direct タブ (TD-4550DNWB)
- >> Bluetooth タブ (TD-4550DNWB)

設定ダイアログボックス



1. メニューバー

機能に応じて各メニュータイトル（ファイル、ツール、ヘルプメニュー）の下にグループ分けされたさまざまなコマンドにアクセスできます。

2. ノード名

ノード名を表示します（ノード名は変更できます）。

3. 設定表示/変更エリア

選択した項目の現在の設定を表示します。

4. 表示の更新

表示された設定を最新の情報に更新します。

5. 終了

通信設定画面を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。



設定の変更後、**設定**ボタンをクリックせずに**終了**をクリックすると、プリンターに設定が適用されません。

6. 設定

プリンターに設定を適用します。指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから**コマンドファイルに保存**コマンドを選択します。保存されたコマンドファイルは、マストレージモードを使ってプリンターに設定を適用するのに使用することができます。



設定をクリックすると、すべてのタブの全設定がプリンターに適用されます。**このページの内容を設定しない**チェックボックスを選択した場合、設定は適用されません。

7. 項目

現在の状態メニューを選択すると、現在の設定が設定表示/変更エリアに表示されます。変更する設定項目を選択します。

8. このページの内容を設定しない

このチェックボックスを選択すると、タブに  が表示され、設定を指定または変更できなくなります。

 が表示されているタブの設定は、**設定**をクリックしてもプリンターに適用されません。また、**コマンドファイルに保存**または**エクスポート**コマンドを使用しても、タブの設定は保存またはエクスポートされません。プリンターに設定を適用するには、またはその設定を保存あるいはエクスポートするには、このチェックボックスの選択を解除してください。

9. 設定タブ

指定または変更できる設定が含まれています。タブに  が表示されている場合、その設定はプリンターに適用されません。

10. プリンター

接続されているプリンターの一覧を表示します。

メニューバー

ファイルメニューオプション

• プリンターへ設定する

プリンターに設定を適用します。

• 設定内容をコマンドファイルに保存する

指定した設定内容をコマンドファイルに保存します。ファイルの拡張子は「BIN」です。保存されたコマンドファイルは、マストレージモードを使ってプリンターに設定を適用するのに使用することができます。



- このページの内容を設定しないチェックボックスが選択されている場合、設定は保存されません。
- 以下の情報はコマンドファイルに保存されません。
 - ノード名
 - IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイ（IP アドレスが **STATIC** に設定されている場合）
- 保存された通信設定コマンドは、プリンターに設定を適用する場合にのみ使用されます。このコマンドファイルを使用してプリンターに設定を適用するには、マストレージモードを使用します。
- 保存されたコマンドファイルには、認証キーとパスワードが含まれています。他のユーザーがアクセスできない場所に保存するなど、保存したコマンドファイルを保護するために必要な対策を講じてください。
- コマンドファイルを異なる機種種のプリンターに送信しないでください。

• 証明書のインストール

一部のネットワーク認証方式では、証明書が必要な場合があります。

接続されているプリンターに証明書をインストールするか、同じ機種種のプリンターに配布できるコマンドファイルとして証明書を保存してください。

• インポート

- 現在の PC 無線設定からインポートする

パソコンから設定をインポートします。



- パソコンの無線設定をインポートするときは、パソコンの管理者権限が必要です。
- パーソナルセキュリティ認証設定（オープンシステム、公開鍵認証、WPA/WPA2-PSK）のみインポートできます。エンタープライズセキュリティ認証（EAP-FAST など）、WPA2-PSK (TKIP)、WPA-PSK (AES)設定はインポートできません。
- お使いのパソコンで複数の無線 LAN が有効になっている場合、最初に検出された無線 LAN 設定（個人設定のみ）がインポートデータとして考慮されます。
- **無線 LAN** タブの**無線設定**の設定のみインポートできます（接続モード、SSID、認証方式、暗号化方式、認証キー）。

- プロファイルを選択してインポートする

エクスポートされたファイルをインポートし、その設定をプリンターに適用します。[参照](#)をクリックし、インポートするファイルを選択します。選択したファイルの設定が設定表示/変更エリアに表示されます。



- ノード名を除いて、すべての設定をインポートできます。
- 選択したプリンターに対応したプロファイルのみをインポートできます。
- インポートされたプロファイルの IP アドレスが **STATIC** に設定されている場合は、ネットワーク上の既存の構成済みプリンターの IP アドレスと重複しないよう、必要に応じて、インポートされたプロファイルの IP アドレスを変更してください。

• エクスポート

現在の設定をファイルに保存します。**このページの内容を設定しない**チェックボックスが選択されている場合、設定は保存されません。



エクスポートされたファイルは暗号化されていません。

ツールメニューオプション

• オプション設定

- 適用後、プリンターを自動的に再起動する

このチェックボックスを選択すると、通信設定が適用された後、プリンターが自動的に再起動します。このチェックボックスを選択していない場合、プリンターを手動で再起動する必要があります。



複数のプリンターを設定する場合、このチェックボックスの選択を解除することで、設定変更に必要な時間を短縮することができます。この場合、各設定が意図したとおりに動作していることを確認できるように、最初のプリンターを設定するときはこのチェックボックスを選択することをお勧めします。

- プリンター接続時に、自動的に設定対象プリンターを変更する

このチェックボックスを選択した場合、プリンターがパソコンに接続されると自動的に検出され、現在の設定値が**現在の状態**項目に表示されます。



接続されているプリンターが**プリンター**ドロップダウンリストに表示されているプリンターと異なる場合、すべてのタブで使用できる設定が、接続されているプリンターと一致するように変更されます。

• ノード名/Bluetooth デバイス名の変更

ノード名と Bluetooth 機器名を変更できます。

• 通信設定を工場出荷時に戻す

通信設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ヘルプメニューオプション

• ヘルプの表示

ヘルプのトピックを表示します。

全般タブ

通信設定

• パワーオン時のネットワーク設定

プリンターの電源がオンになったときに、ネットワーク経由で接続するための条件を指定します。**常に無線 LAN**、**常に有線 LAN**、または**前回の状態維持**のオプションを選択します。

- **インターフェイスの選択**
インフラストラクチャ、インフラストラクチャ と Wireless Direct、または Wireless Direct のオプションを選択します。
- **パワーオン時の Bluetooth**
プリンターの電源がオンになったときに、Bluetooth 経由で接続するための条件を指定します。常に ON、常に OFF、または前回の状態維持のオプションを選択します。

IPv6

- **IPv6 の使用**
有効または無効を選択します。
- **IPv6 アドレスを優先する**
IPv6 アドレスを優先するように選択します。

データ更新

- **FTP サーバーの IP アドレス**
FTP サーバーのアドレスを入力します。
- **ポート番号**
FTP サーバーへのアクセスに使用するポート番号を指定します。
- **ユーザー名**
FTP サーバーへのログイン権限を持つユーザー名を入力します。
- **パスワード**
ユーザー名欄に入力したユーザー名のパスワードを入力します。
- **取得先パス**
ダウンロードしたい更新ファイルがある FTP サーバー上のフォルダーのパスを入力します。
- **設定ファイル名**
FTP サーバーにある更新ファイル名を指定します。

ログ

- **ログ出力**
更新ログを FTP サーバーにエクスポートするかどうかを選択します。
- **FTP サーバーの出力先パス**
ログデータをエクスポートしたい FTP サーバー上のフォルダーのパスを入力します。

有線 LAN/無線 LAN タブ

TCP/IP

- **IP アドレスの設定**
AUTO、BOOTP、DHCP、RARP、または STATIC オプションを選択します。
- **IP アドレス/サブネットマスク/ゲートウェイアドレス**
さまざまなネットワーク値を指定します。これらの設定は、IP アドレスが STATIC に設定されている場合にのみ入力できます。
- **DNS サーバーの設定**
AUTO または STATIC オプションを選択します。
- **プライマリ DNS サーバーアドレス/セカンダリ DNS サーバーアドレス**
これらの設定は、DNS サーバーが STATIC に設定されている場合にのみ入力できます。

IPv6

- **固定 IPv6 アドレス**
固定 IPv6 アドレスを指定します。
- **このアドレスを有効にする**
指定された固定 IPv6 アドレスを有効にします。

- **プライマリ DNS サーバー IPv6 アドレス/セカンダリ DNS サーバー IPv6 アドレス**
DNS サーバーの IPv6 アドレスを指定します。
- **IPv6 アドレスリスト**
IPv6 アドレスの一覧を表示します。

有線 802.1x 認証

IEEE 802.1x 認証を設定します。

- **有線 802.1x**
有線 LAN ネットワークの IEEE 802.1x 認証を有効または無効にします。
- **認証方式**
認証方式を選択します。
- **ユーザー ID/パスワード**
EAP-MD5、EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS、または EAP-TLS が認証方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。さらに、EAP-TLS ではパスワードを登録する必要はありませんが、クライアント証明書を登録する必要があります。証明書を登録するには、ウェブブラウザからプリンターに接続し、証明書を指定します。認証証明書のインストールは、プリンター設定ツールのメニューバー： **ファイル > 証明書のインストール** から実行することもできます。

無線設定

- **接続モード**
通信モードを表示します。
- **SSID(ネットワーク名)**
検索をクリックすると、利用可能な SSID が別のダイアログボックスに表示されます。
- **チャンネル**
選択したチャンネルが自動的に表示されます。
- **認証方式/暗号化方式**
認証方式でサポートされている暗号化方式は、以下の一覧表のとおりです。

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし/WEP
共有キー	WEP
WPA/WPA2-PSK	TKIP+AES/AES
EAP-FAST/NONE	TKIP+AES/AES
EAP-FAST/MS-CHAPv2	TKIP+AES/AES
EAP-FAST/GTC	TKIP+AES/AES
PEAP/MS-CHAPv2	TKIP+AES/AES
PEAP/GTC	TKIP+AES/AES
EAP-TTLS/CHAP	TKIP+AES/AES
EAP-TTLS/MS-CHAP	TKIP+AES/AES
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	TKIP+AES/AES
EAP-TTLS/PAP	TKIP+AES/AES
EAP-TLS	TKIP+AES/AES



より高いレベルのセキュリティ設定を指定するには：EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS、または EAP-TLS 認証方式で証明書検証を実行する場合、プリンター設定ツールで証明書を指定することはできません。プリンターをネットワークに接続するように設定した後に、ウェブブラウザからプリンターにアクセスして証明書を指定します。認証証明書のインストールは、プリンター設定ツールのメニューバー： **ファイル > 証明書のインストール** から実行することもできます。

- **WEP キー**

WEP が暗号化方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。

- **PSK（事前共有キー）**

WPA/WPA2-PSK が認証方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。

- **ユーザー ID/パスワード**

EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS、または EAP-TLS が認証方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。さらに、EAP-TLS ではパスワードを登録する必要はありませんが、クライアント証明書を登録する必要があります。証明書を登録するには、ウェブブラウザからプリンターに接続し、証明書を指定します。

- **キーとパスワードを画面に表示する**

このチェックボックスを選択すると、キーとパスワードがプレーンテキスト（暗号化されていないテキスト）で表示されます。

Wireless Direct タブ（TD-4550DNWB）

Wireless Direct 設定

- **SSID/ネットワークキーの生成**

AUTO または STATIC オプションを選択します。

- **SSID(ネットワーク名)/ネットワークキー**

Wireless Direct モードで使用する SSID（アスキー 25 文字以下）とネットワークキー（63 文字以下）を指定します。



- お買い上げ時の SSID とパスワードは次のとおりです。

- SSID : "DIRECT-*****_TD-4550DNWB"。*****は製品シリアル番号の下 5 桁です。
- パスワード : 455*****。*****は製品シリアル番号の下 5 桁です。

- **チャンネル**

Wireless Direct モードに使用するチャンネルを指定します。

Bluetooth タブ（TD-4550DNWB）

Bluetooth 設定

制御モード

Bluetooth が有効なときに制御モードを選択します。

クラシック

- **他のデバイスからの検索**

他の Bluetooth 機器によってプリンターが「検出」されることを許可します。

- **PIN コードを変更する**

PIN を変更します。

- **PIN コードを画面に表示する**

パソコンに PIN を表示します。

- **ペアリング時に本体キーの操作を要求する**

クラシック Bluetooth モード使用時にこのチェックボックスを選択すると、Bluetooth 2.1 以降を実行する機器とペアリングする際にプリンターのボタン操作が必要になります。

- **自動再接続**

以前に接続した Apple 製品（iPad、iPhone、または iPod touch）と自動的に再接続するかどうかを設定します。

Low Energy

- **最小セキュリティ**

Low Energy のみモード使用時の最小セキュリティーレベルを選択します。

- **ペアリング時に本体キーの操作を要求する**

Low Energy のみモード使用時にこのチェックボックスを選択すると、Low Energy 互換機器とペアリングする際にプリンターのボタン操作が必要になります。



関連情報

- [プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する（Windows）](#)
-

プリンター設定ツールの本体設定 (Windows)

プリンターとパソコンを USB ケーブルまたは Bluetooth (使用可能な機種のみ) で接続するときに、プリンター設定ツールの本体設定を使用して、プリンターの設定を指定または変更します。1 台のプリンターの本体設定を変更できるだけではなく、同じ設定を複数のプリンターに適用することもできます。パソコンのアプリケーションから印刷する場合、プリンタードライバからさまざまな印刷設定を指定できますが、プリンター設定ツールの本体設定ツールを使用すれば、より詳細な設定を行うことができます。**本体設定**画面を開くと、プリンターの現在の設定が取得されて表示されます。現在の設定を取得できない場合、以前の設定が表示されます。現在の設定を取得できず、以前の設定が指定されていなかった場合、プリンターのお買い上げ時の設定が表示されます。

- >> 設定ダイアログボックス
- >> メニューバー
- >> 基本設定タブ
- >> 拡張設定タブ
- >> 印字位置 / センサータブ
- >> 画面設定タブ (TD-4550DNWB)
- >> 管理設定タブ

設定ダイアログボックス



1. メニューバー

機能に応じて各メニュータイトル（ファイル、メンテナンス、バージョン情報メニュー）の下にグループ分けされたさまざまなコマンドにアクセスできます。

2. 現在値を取得

現在接続されているプリンターから設定を取得し、ダイアログボックスに表示します。 がついたタブのパラメーター設定も取得されます。

3. このページの内容を設定しない

このチェックボックスを選択すると、タブに  が表示され、設定を指定または変更できなくなります。

 が表示されているタブの設定は、**設定**をクリックしてもプリンターに適用されません。また、**コマンドファイルに保存**または**エクスポート**コマンドを使用しても、タブの設定は保存またはエクスポートされません。

4. パラメーター

現在の設定を表示します。

5. 終了

本体設定画面を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。

6. 設定

プリンターに設定を適用します。指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから**コマンドファイルに保存**コマンドを選択します。

保存されたコマンドファイルは、マストレージモードを使ってプリンターに設定を適用するのに使用することができます。

7. 設定タブ

指定または変更できる設定が含まれています。



タブに  が表示されている場合、設定を変更することはできません。また、**設定**をクリックしても、タブの設定はプリンターに適用されません。**コマンドファイルに保存**または**エクスポート**コマンドを使用しても、タブの設定は保存またはエクスポートされません。

8. プリンター

設定するプリンターを指定します。

メニューバー

ファイルメニューオプション

- **プリンターへ設定する**

プリンターに設定を適用します。

- **設定の確認**

現在の設定を表示します。

- **設定内容をコマンドファイルに保存する**

指定した設定内容をコマンドファイルに保存します。

- **インポート**

エクスポートされたファイルをインポートします。

- **エクスポート**

現在の設定をファイルに保存します。

- **終了**

本体設定画面を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。

メンテナンスメニューオプション



一部の項目を表示するには、パソコンまたはプリンターの管理者権限を持っている必要があります。プリンターに対して管理者権限を持っているかどうかを確認するには、**プリンターのプロパティ**メニューをクリックしてから、**セキュリティ**タブをクリックします。

- **印刷履歴をファイルに保存する**

印刷ログを CSV 形式でファイルに保存します。

- **本体設定印刷**

現在のファームウェアバージョンと本体設定情報を含むレポートを印刷します。



このレポートを印刷するときは、62mm 以上の幅の RD ロールを使用することをお勧めします。

- **印字ヘッドの状態を確認する**

印字ヘッドに問題がないかをチェックします。

- **工場出荷状態に戻す**

本体設定、転送されたデータ、ネットワーク設定を含むすべての設定をお買い上げ時の設定にリセットします。

- **本体設定のみを工場出荷設定に戻す**

本体設定で変更された設定をお買い上げ時の設定にリセットします。

- **テンプレートとデータベースの内容を削除する**

プリンターに保存されているテンプレートとデータベースを削除します。

- **印刷履歴を削除する**

プリンターに保存されている印刷ログを削除します。

- **オプション設定**

起動時に現在値を取得できなかった場合、エラーメッセージを表示しないチェックボックスを選択すると、次回はメッセージが表示されなくなります。

基本設定タブ

- **自動電源オン**

AC 電源コードを AC 電源コンセントに差し込んだときに、プリンターの電源が自動的にオンになるかどうかを指定します。

- **オートスリープ**

プリンターが自動的にスリープモードになるまでの時間を指定します。



- 下記の条件を満たした状態で指定した時間が経過すると、プリンターは自動的にスリープモードになります。
 - プリンターがデータを受信しない。
 - LAN ケーブルが接続されていない。
 - アイドルモードまたはテンプレート選択モードである。
 - USB ホストポートに機器が接続されていない場合。
 - シリアルポートで通信を行っていない場合。
- 下記の操作が行われると、スリープモードが解除されます。
 - プリンターのいずれかのボタンが押される。
 - ロールカバーが開け閉めされる。
 - プリンターがデータを受信する。(シリアルポート経由を除く)
 - USB ケーブルが抜き差しされる。

- **オートパワーオフ**

AC 電源コンセントに接続されているときに、プリンターの電源が自動的にオフになるまでの時間を指定します。



- 下記の条件を満たした状態で指定した時間が経過すると、プリンターは自動的にパワーオフモードになります。
 - プリンターがデータを受信しない。
 - LAN ケーブルが接続されていない。
 - アイドルモードまたはテンプレート選択モードである。
 - USB ホストポートに機器が接続されていない場合。
 - シリアルポートで通信を行っていない場合。
- 下記の操作が行われると、パワーオフモードが解除されます。
 - プリンターのいずれかのボタンが押される。
 - ロールカバーが開け閉めされる。
 - プリンターがデータを受信する。(シリアルポート経由を除く)
 - USB ケーブルが抜き差しされる。

- **印刷の向き**

印刷の向きを選択します。

- **印刷速度**

プリンターの印刷速度を選択します。

- **印刷の濃さ**
プリンターの印字濃度を選択します。
- **カバークローズ時の用紙先端合わせ**
カバーが閉じられると用紙が自動的に給紙されるかどうかを選択します。
- **発行方式**
用紙の排紙先を選択します。
- **カット設定**
複数のラベルを印刷する場合のカット方法を設定します。
- **速度自動調整モード**
印刷速度を自動的に調整し、最適な印字濃度で印刷します。

拡張設定タブ

- **フィードキー機能設定**
 が押されたときに実行される操作を選択します。**プログラム設定**が選択されている場合は、**ファイル**をクリックし、コマンドファイルを選択します。
- **本体情報を印刷する**
プリンターの情報レポートに含める情報を選択します。
- **JPEG 印刷設定**
JPEG 画像を印刷するときの画像処理方法を選択します。
- **連番モード**
印刷するラベルを連番にする（ナンバリング）方法を指定します。
- **本体の印刷履歴保存**
プリンターの印刷ログを保存するかどうかを選択します。**無効**を選択すると、**印刷履歴をファイルに保存する**オプションは使用できなくなります。
- **印刷後の印字データ**
印刷後に印刷データを消去するかどうかを指定します。

印字位置 / センサータブ

RD ロールが使用されている場合、センサーを調整する必要はありません。

- **印字基点補正**
基準点の位置（印字位置を決める原点）を調整します。これにより、プリンター機種の違いやソフトウェアで固定した余白によって印刷結果がずれるような場合に、印字誤差を調整します。
ラスタ印刷の場合、基準点を調整することはできません。
- **ティアバー位置補正**
ティアバーの用紙カット位置を調整します。
- **用紙センサー(透過型/ギャップ)**
 - **セパレーター検出レベル補正**
ブレカット紙ラベルのギャップ（隙間）検知感度を調整します。
 - **発光量の補正**
透過型/ギャップセンサーが放つ光量を調整します。
- **用紙センサー(反射型/バー)**
 - **黒マーク検出レベル補正**
黒マーク検出の感度を調整します。
 - **発光量の補正**
反射型/黒マークセンサーが放つ光量を調整します。
- **用紙センサー(ハクリ)**

ハクリユニット（オプション）が使用されている場合の設定を指定します。

- ・ **ハクリ検出レベル補正**

ラベルが剥離されたかどうかを検出するセンサーの精度を調整します。

画面設定タブ（TD-4550DNWB）

- ・ **時計設定**

日時を設定します。

- ・ **画面の濃さ**

画面のコントラストを設定します。

- ・ **消灯までの時間**

プリンターが使用されていない場合にバックライトをオフにするまでの経過時間を設定します。

- ・ **テンプレートモード**

プリンターを P-touch Template モードで動作させるかどうかを指定します。

P-touch Template モードでは、以前に設定したテンプレートを使用して、テキストだけを入力してラベルを印刷することができます。

- ・ **印刷前の確認**

印刷枚数を確認できるように、印刷前にメッセージを表示させるかどうかを指定します。

- ・ **印刷枚数初期値**

印刷枚数の初期値を指定します。

- ・ **QR コードデータ**

好みのテキストやウェブページを紐づけた QR コードデータを作成し、プリンターの画面に表示します。表示された QR コードを携帯端末で読み取って、情報を取得できます。

管理設定タブ



このタブを表示するには、パソコンまたはプリンターに対する管理者権限を持っている必要があります。プリンターに対して管理者権限を持っているかどうかを確認するには、**プリンターのプロパティ**メニューをクリックしてから、**セキュリティ**タブをクリックします。

- ・ **日時表示有無**

プリンターの画面に日時を表示するかどうかを選択します。

- ・ **単位**

初期単位を指定します。

- ・ **言語**

画面に表示される言語を指定します。

- ・ **Bluetooth/WLAN 完全無効モード**

Bluetooth または Wi-Fi のインターフェイスを無効にすることができます。この機能は、信号の送信が許可されていない場所でプリンターを使用する場合に便利です。

- ・ **設定キー禁止**

メニュー設定をロックして、変更できないようにします。

- ・ **管理パスワード**

管理者モードを設定する場合は、**オン**を選択します。メニュー設定を変更するために必要となる 4 桁のパスワードを設定します。

- ・ **コマンド系**

コマンドモードの種類を選択します。

- ・ **日付形式**

時計の日付形式を選択します。

- ・ **時刻形式**

時計の時間形式を選択します。

- **電源 ON 時ヘッドチェック**

プリンターの電源をオンにしたときに印字ヘッドの状態をチェックするかどうかを設定します。



関連情報

- [プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する \(Windows\)](#)
-

プリンター設定ツールの P-touch Template 設定 (Windows)

P-touch Template モードでは、プリンターに接続されたその他の機器を使用して、ダウンロードしたテンプレートからテキストやバーコードオブジェクトにデータを挿入できます。ご利用できるオプションや付属品は国によって異なる場合があります。プリンター設定ツールの P-touch Template 設定を使用して、P-touch Template の機能を指定または変更します。



- P-touch Template モードは、測量機、試験機、コントローラー、プログラマブルロジック機器など、その他の入力機器とも互換性があります。
- P-touch Template 設定の詳細については「P-touch テンプレートマニュアル / コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.co.jp/j/d/b4m2/) からダウンロードできます。

1 コマンドモード(E): P-touch Template

2 テンプレート番号初期値(T): 1

3 区切り記号(C): ¥09

4 印刷開始トリガ

● 印刷開始コマンド文字列(Q): ^FF

○ すべてのオブジェクトのデータ取得後(U)

○ 指定データサイズ受け取り後(U): 10 バイト

5 文字コードセット(H): JIS X 0201

6 国際文字(N): Japan

7 プレフィックス文字(U): ^

8 読み捨て文字列(B):

9 改行コード(E): ^CR

10 ☐ FNC1置換(A)

印刷オプション

11 印刷枚数(E): 1

12 ☒ オートカット(A): 1 枚ごとにカット ☒ 最後をカット(U)

13 ☐ 180度回転(S)

14 通信設定(M)...

15 既定値に戻す(D)

17 設定(S)

16 キャンセル

1. コマンドモード

P-touch Template モードを初期モードとして指定します。モードを変更するには、**本体設定画面の管理設定**タブにアクセスしてモードを選択します。

2. テンプレート番号初期値

プリンターがオンになったときに設定されるテンプレート番号の初期値を指定します。テンプレートをプリンターに転送したくない場合は、テンプレート番号を指定しないでください。

3. 区切り記号

ファイル内のデータのグループ間の境界を示す記号を表示します（最大 20 文字）。

4. 印刷開始トリガ

印刷を開始するトリガーを複数のオプションから指定します。

- **印刷開始コマンド文字列**：ここで指定したコマンド文字を受信すると、印刷を開始します。
- **すべてのオブジェクトのデータ取得後**：最後のオブジェクトの区切り文字を受信すると、印刷を開始します。

- **指定データサイズ受け取り後**：ここで指定した文字数を受信すると、印刷を開始します。ただし、区切り文字は文字数に含まれません。

5. 文字コードセット

いずれかの文字コードセットを選択します。

6. 国際文字

特定の地域用の文字セットの一覧を表示します。次のコードは、選択した国によって異なります。

23h 24h 40h 5Bh 5Ch 5Dh 5Eh 60h 7Bh 7Ch 7Dh 7Eh

文字を変更するには「P-touch テンプレートマニュアル / コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.co.jp/j/d/b4m2/) からダウンロードできます。

7. プレフィックス文字

P-touch Template モードで使用されるコマンドを識別する接頭文字コードを指定します。

8. 読み捨て文字列

ここで指定した文字は、データが受信されても印刷されません（最大 20 文字）。

9. 改行コード

改行コードは、後続のデータをテキストオブジェクトの次の行に移動する必要があることを示すために、データを送るときに使用されます。4 つの改行コードのいずれかを選択するか、好みの改行コードを入力します（最大 20 文字）。

10. FNC1 置換

GS コードを FNC1 に置き換えます。

11. 印刷枚数

印刷枚数を設定します（最大 99 枚）。

12. カット設定

プリンターでラベルをカットするかどうか、およびカット前に印刷されるラベルの数を指定します（最大 99 枚）。

13. 180 度回転

このチェックボックスを選択すると、データを 180 度回転させた後印刷します。

14. 通信設定

シリアル通信のパラメーターを設定します。

15. 既定値に戻す

P-touch Template 設定ダイアログボックス内のすべての設定値を工場出荷時の設定に戻します。

16. キャンセル

設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定は変更されません。

17. 設定

プリンターに設定を適用します。将来再利用できるように、指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから**コマンドファイルに保存**コマンドを選択します。

保存されたコマンドファイルは、マストレージモードを使ってプリンターに設定を適用するのに使用することができます。



関連情報

- [プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する \(Windows\)](#)

関連トピック：

- [USB インターフェイスを使用して印刷する \(マストレージモード\)](#)

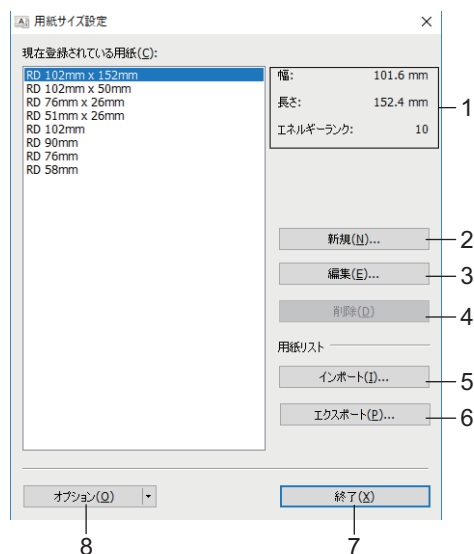
プリンター設定ツールの用紙サイズ設定 (Windows)

プリンター設定ツールの用紙サイズ設定を使用すると、プリンタードライバーの**用紙サイズ**一覧にない用紙サイズを追加できます。

使用可能な用紙サイズ以外の用紙サイズで印刷する前に、新しい用紙サイズをプリンターに送信して登録する必要があります。

プリンターに登録されていない用紙サイズを使用して印刷すると、意図した印刷結果を得られないことがあります。

用紙サイズ設定ダイアログボックス



1. 現在の設定

選択した用紙形式の現在の設定が表示されます。

2. 新規

このボタンをクリックすると、**新規**ダイアログボックスが表示され、新しい用紙サイズを登録できます。

お願い

登録済みのものと同じ用紙サイズは登録しないでください。意図しない印刷結果になることがあります。現在登録されているものと同じサイズの用紙を使用するには、**用紙サイズ設定**ダイアログボックスの**現在登録されている用紙**一覧から必要なサイズを選択し、**編集**ダイアログボックスで設定を変更および上書きしてください。

3. 編集

選択した用紙形式の設定を編集します。

選択した用紙形式を新しい設定で保存する場合は、**上書き**をクリックします。新しい設定の用紙形式を追加するには、**用紙名**で名前を変更し、**追加**をクリックします。

4. 削除

選択した用紙形式を削除します。削除した用紙形式は復元できません。

5. インポート

用紙形式の設定が含まれるテキストファイルを読み込んで、**現在登録されている用紙**一覧の内容を置き換えます。

お願い

一覧をインポートすると、**現在登録されている用紙**一覧の内容すべてが、インポートした用紙形式で置き換えられます。

6. エクスポート

現在登録されている用紙一覧の用紙形式をファイルにエクスポートします。エクスポートした形式は、他のパソコンに配布できます。

7. 終了

用紙サイズ設定画面を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。

8. オプション

▼をクリックし、操作を選択します。

本体に用紙を登録をクリックすると、選択した用紙形式の設定がプリンターに登録されます。

コマンドファイルに保存をクリックすると、用紙設定がコマンドファイルとしてエクスポートされます。(ファイルの拡張子は「BIN」です。)

お願い

プリンターに用紙形式を登録し、**終了**をクリックすると、**用紙サイズ設定**ダイアログボックスが表示され、**現在登録されている用紙**一覧には追加した用紙サイズが表示されます。ソフトウェアが実行中の場合は、ソフトウェアを終了して再起動すると、新しい用紙形式が一覧に表示されます。



- 次の機能を使用すると、これらの設定を簡単にプリンターに適用できます。
 - マスストレージ機能
 - Bluetooth (Object Push Profile (OPP))
 - Wi-Fi (File Transfer Protocol (FTP))
- これらのコマンドは、設定をプリンターに適用するために使用します。これらのコマンドは用紙サイズ設定にインポートできません。

>> **新規ダイアログボックス**

>> **印字調整ダイアログボックス**

新規ダイアログボックス

1. 用紙名

追加する用紙設定の名前を入力します。

2. 用紙自動検知

プリンターにセットされている用紙の情報を取得し、表示します。詳細については「関連情報」をご覧ください。



このオプションを使用する場合はプリンターをアイドル状態にします。印刷ジョブの処理中または印刷中にプリンターを設定しようとすると、誤作動する可能性があります。

3. 用紙種類

用紙種類を選択します。

4. 詳細設定

追加する用紙形式の詳細を指定します。

5. 印字調整

このボタンをクリックすると、**印字調整**ダイアログボックスが表示され、用紙形式ごとに詳細な印刷調整を行うことができます。

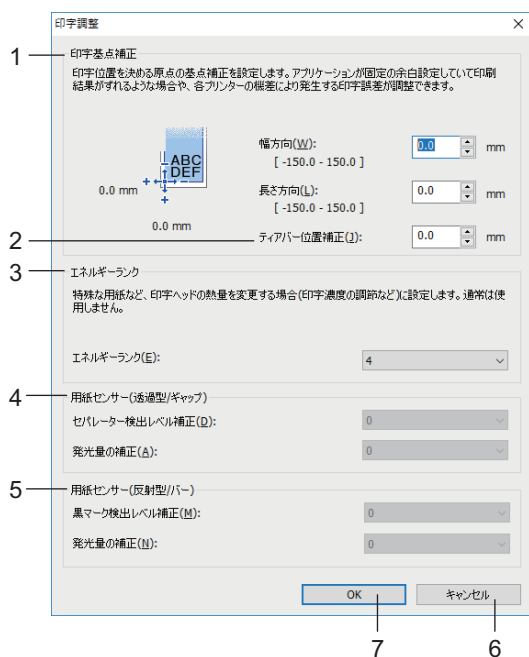
6. キャンセル

設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定内容は保存されません。

7. 追加

このボタンをクリックすると、用紙形式を追加し、設定を適用します。

印字調整ダイアログボックス



1. 印字基点補正

基準点の位置（印字位置を決める原点）を調整します。これにより、プリンター機種の違いやソフトウェアで固定した余白によって印刷結果がずれるような場合に、印字誤差を調整します。

2. ティアバー位置補正

ティアバーで用紙をカットする際のカット位置を調整します。

3. エネルギーリンク

特殊な用紙などを使用する場合に、印字ヘッドの熱量（エネルギー）を調整します。



お使いの環境や用紙によって、印字結果に濃淡の差が発生する場合があります。必要に応じて設定を変更してください。

4. 用紙センサー(透過型/ギャップ)

透過型/ギャップセンサーがプレカット紙ラベルのギャップ（隙間）を検出する精度、およびセンサーの光量を調整します。

用紙種類が**ダイカットラベル**に設定されている場合に設定できます。



本体設定ダイアログボックスの**用紙センサー(透過型/ギャップ)**の設定が、検出結果に影響を与えます。適切な値を指定してください。

設定例：

	設定例 1	設定例 2
本体設定	+2	-2
用紙サイズ設定	+2	+2
実際の効果	4	0

5. 用紙センサー(反射型/バー)

反射型/黒マークセンサーが黒マークを検出する精度、およびセンサーの光量を調整します。

用紙種類が**マーク付きメディア**に設定されている場合に設定できます。



本体設定ダイアログボックスの**用紙センサー(反射型/バー)**の設定が、検出結果に影響を与えます。適切な値を指定してください。

設定例：

	設定例 1	設定例 2
本体設定	+2	-2
用紙サイズ設定	+2	+2
実際の効果	4	0

6. キャンセル

設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定内容は保存されません。

7. OK

設定を保存し、前のダイアログボックスに戻ります。



関連情報

- プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する (Windows)
 - 他のパソコンに用紙形式を配布する (Windows)

関連トピック：

- 用紙自動検知

他のパソコンに用紙形式を配布する (Windows)

用紙サイズ設定ダイアログボックスの現在登録されている用紙リストからエクスポートした用紙形式を他のパソコンに配布できます。プリンタードライバが受信側パソコンにインストールされている場合、用紙形式を配布するだけで済みます。

1. 送信側パソコンで用紙形式の設定を指定し、**エクスポート**をクリックします。

次のファイルが作成されます。

TD-4550DNWB	bst455ed.ptd bst455ed.txt pdt4235.bin
-------------	---

2. 受信側パソコンの任意の場所に TXT ファイルを保存します。
3. 受信側パソコンで**インポート**をクリックします。
インポートされた形式で用紙形式が置き換えられます。



関連情報

- ・ プリンター設定ツールの用紙サイズ設定 (Windows)

複数のプリンターに設定の変更を適用する (Windows)

>> 通信設定 (TD-4550DNWB)

>> 本体設定

通信設定 (TD-4550DNWB)

1. 最初のプリンターに設定を適用した後、そのプリンターをパソコンから切断し、2 台目のプリンターをパソコンに接続します。
2. **プリンター** ドロップダウンリストから、新しく接続したプリンターを選択します。

オプション設定 ダイアログボックスの **プリンター接続時に、自動的に設定対象プリンターを変更する** チェックボックスを選択すると、USB ケーブルで接続されたプリンターが自動的に選択されます。

3. **設定** をクリックします。

新しい設定で無線 LAN ルーター/アクセスポイントと正しく接続されていることを確認できるように、最初のプリンターを設定するときは**適用後、プリンターを自動的に再起動する** チェックボックスを選択することをお勧めします。

最初のプリンターに適用されたのと同じ設定が 2 台目のプリンターに適用されます。

4. 設定を変更したいすべてのプリンターに対してこの手順を繰り返します。



- IP アドレスが **STATIC** に設定されている場合は、後のプリンターの IP アドレスは最初のプリンターと同じアドレスに変更されます。必要に応じて IP アドレスを変更します。
- 現在の設定をファイルに保存するには、**ファイル > エクスポート** をクリックします。**ファイル > インポート** をクリックして、エクスポートされた設定ファイルを選択すると、同じ設定を別のプリンターに適用することができます。

本体設定

1. 最初のプリンターに設定を適用した後、パソコンから切断し、2 台目のプリンターを接続します。
2. **プリンター** ドロップダウンリストから、新しく接続したプリンターを選択します。
3. **設定** をクリックします。最初のプリンターに適用されたのと同じ設定が 2 台目のプリンターに適用されます。
4. 設定を変更したいすべてのプリンターに対してこの手順を繰り返します。



現在の設定をファイルに保存するには、**ファイル > エクスポート** をクリックします。**ファイル > インポート** をクリックして、エクスポートされた設定ファイルを選択すると、同じ設定を別のプリンターに適用することができます。



関連情報

- [プリンターの設定](#)

ウェブブラウザを使用してプリンターの設定を変更する

標準的なウェブブラウザを使用して、ハイパーテキスト転送プロトコル（HTTP）またはSSL（セキュアソケットレイヤー）上のハイパーテキスト転送プロトコル（HTTPS）でプリントサーバーの設定を変更できます。

ウェブブラウザによる設定では、次の操作が可能です。

- プリンターのステータス情報の表示
- TCP/IP 情報などのネットワーク設定の変更
- プリンターとプリントサーバーのソフトウェアバージョン情報の表示
- ネットワークとプリンターの詳細設定の変更



- Windows の場合は、Microsoft Internet Explorer 11/Microsoft Edge をお勧めします。どのウェブブラウザの場合も、JavaScript および Cookies を有効にして使用してください。
- プリンターの設定を管理するための初期のログインパスワードは **initpass** です。この設定は、権限のないアクセスからプリンターを保護するために変更することをお勧めします。

ウェブブラウザによる設定を使用するには、ネットワーク上で TCP/IP を使用し、プリンターとパソコンに有効な IP アドレスが設定されている必要があります。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

https://SharedPrinter

NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

- 例：

https://brnxxxxxxxxxxxxx

3. パスワードの入力を求められたら入力し、 をクリックします。
4. プリントサーバーの設定を変更します。

ウェブブラウザによる設定にアクセスするたびに、**ログイン**欄にパスワードを入力して、 をクリックします。設定後、 をクリックしてログアウトします。



関連情報

- [プリンターの設定](#)
 - [ウェブブラウザのログインパスワードを設定または変更する](#)

ウェブブラウザのログインパスワードを設定または変更する

ウェブブラウザへの不正アクセスを防止するため、初期ログインパスワードは変更することをお勧めします。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例：

https://SharedPrinter

NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

- 例：

https://brnxxxxxxxxxxxxx

3. 以下のいずれかを行います。
 - 事前にパスワードを設定してある場合は、そのパスワードを入力し、 をクリックします。
 - 事前にパスワードを設定していない場合は、**initpass** を入力し、 をクリックします。
4. **管理者設定**タブをクリックします。
5. **新しいパスワードの入力欄**に、使用するパスワードを入力します（最大 32 文字）。
6. **新しいパスワードの確認欄**に、パスワードをもう一度入力します。
7. **OK** をクリックします。



関連情報

- [ウェブブラウザを使用してプリンターの設定を変更する](#)

プリンターの設定を確認する

プリンターをパソコンや携帯端末に接続しなくても、プリンター設定レポートを印刷することができます。

1. プリンターの電源をオンにします。
2. プリンターに 102mm 以上の幅の RD ロールを取り付けます。
3. **Menu** を押します。
4. ▲ または ▼ を押して、次のように選択します。
 - a. [本体情報] を選択します。 **OK** を押します。
 - b. [本体情報印刷] を選択します。 **OK** を押します。
5. ▲ または ▼ を押して、[すべて]、[印刷履歴]、[本体設定]、または[転送データ] オプションを選択し、 **OK** を押します。
6. ▲ または ▼ を押して、[実行] を選択します。 **OK** を押します。



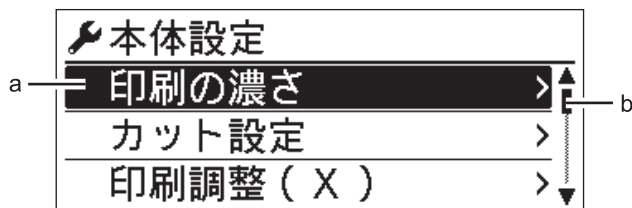
関連情報

- [プリンターの設定](#)

プリンターを使用してプリンター設定を変更する

プリンターの設定は、プリンターから設定するか、またはプリンターに接続されているパソコンでプリンター設定ツールを使用して設定できます。

1. **Menu** を押します。
2. ▲ または ▼ を押して、メニューオプションを選択し、**OK** を押します。
3. ▲ または ▼ を押して、オプションを選択し、**OK** を押します。



- a. 現在の選択内容が強調表示されます。
- b. スクロールバーに、リスト上で強調表示されたオプションの位置が表示されます。

✓ 関連情報

- [プリンターの設定](#)
 - [メニューのセキュリティを設定する](#)
 - [設定一覧](#)

関連トピック：

- [プリンター設定ツールを使用してプリンターの設定を変更する \(Windows\)](#)

メニューのセキュリティを設定する

メニューのセキュリティを設定すると、パスコードを設定することで管理者モードへのアクセスを制限できます。

1. **Menu** を押します。
 2. ▲または▼を押して、次のように選択します。
 - a. [管理者設定]を選択します。**OK** を押します。
 - b. [パスワード]を選択します。**OK** を押します。
 3. ▲または▼を押して、[有効]を選択します。**OK** を押します。
 4. ▲または▼を押して最初の数字を指定し、**OK** を押して次の数字に進みます。
この手順を繰り返して、残りの3つの数字を指定します。
- パスコードを設定すると、[管理者設定]メニューを選択すると必ずパスコードの入力画面が表示されるようになります。▲または▼を押して指定した4桁のパスコードを入力し、**OK** を押します。
 - パスコードの設定を取り消すには、[管理者設定]メニューを選択して、パスコードを入力します。次に、[パスワード] > [無効]を選択します。
 - パスコードを忘れた場合は、プリンター設定ツールの本体設定ツールを使用して、すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すか、パスコードをもう一度設定します。

✓ 関連情報

- [プリンターを使用してプリンター設定を変更する](#)

関連トピック：

- [プリンター設定ツールの本体設定（Windows）](#)

設定一覧

設定一覧で、メニューおよびオプションを確認することができます。



一部の設定は、ファームウェア（プリンターソフトウェア）によって異なる場合があります。

- >> [本体設定]
- >> [テンプレート設定]
- >> [本体情報]
- >> [管理者設定]
- >> [有線 LAN]
- >> [無線 LAN]
- >> [Bluetooth]
- >> [用紙設定]
- >> [データ更新]（ネットワーク）
- >> [データ更新]（USB フラッシュメモリー）
- >> [カスタム QR]

[本体設定]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[印刷の濃さ]	-	プリンターの印字濃度を調整します。
[カット設定]	-	複数のラベルを印刷する場合のカット方法を設定します。
[印刷調整 (X)]	-	印刷位置を調整します。
[印刷調整 (Y)]	-	印刷位置を調整します。
[発行方式]	-	用紙の排出先を選択します。
[ティアオフ位置]	-	カット位置を調整します。
[印刷速度]	-	プリンターの印刷速度を選択します。
[印刷の向き]	-	印刷の向きを選択します。
[時計設定]	-	日時を指定します。
[オートパワーオフ]	-	プリンターの電源が自動的にオフになるまでの時間を指定します。
[オートスリープ]	-	プリンターが自動的にスリープモードになるまでの時間を指定します。
[画面の濃さ]	-	画面のコントラストを設定します。数が大きくなるほど、コントラストが強くなります。
[バックライト設定]	-	バックライトのオンまたはオフを切り替えます。
[透過センサー]	[検出レベル補正 (透過)]	プレカット紙ラベルのギャップ（隙間）を検出するセンサーの精度を調整します。
	[発光量の補正 (透過)]	透過型/ギャップセンサーが放つ光量を調整します。
[反射センサー]	[検出レベル補正 (反射)]	黒マークを検出するセンサーの精度を調整します。
	[発光量の補正 (反射)]	反射型/黒マークセンサーが放つ光量を調整します。

[テンプレート設定]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[テンプレートモード]	-	プリンターの電源がオンになったときに、テンプレートモードを開始するかどうかを選択します。

設定項目 1	設定項目 2	説明
		テンプレートモードでは、プリンターに保存されているテンプレートの内容を置き換えて印刷することができます。
[印刷前の確認]	-	印刷枚数を確認できるように、印刷前にメッセージを表示させるかどうかを指定します。
[連番後の値]	[維持する]	最後に印刷された番号から連番を続ける場合に選択します。
	[初期値に戻す]	印刷するたびに初期値の番号から連番を始める場合に選択します。
[連番リセット]	-	連番を初期値の番号にリセットします。
[印刷枚数初期値]	-	印刷枚数の初期値を指定します。
[日付直接入力]	-	テンプレートに日付を直接入力します。
[時刻直接入力]	-	テンプレートに時刻を直接入力します。

[本体情報]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[本体情報表示]	-	プリンター情報を表示します。
[本体情報印刷]	[すべて]	プリンターの設定情報を印刷します（ドット抜け確認パターン、印刷履歴、印刷設定、無線設定情報、転送データ）。
	[印刷履歴]	プリンターの印刷履歴を印刷します。
	[本体設定]	本体設定を印刷します。
	[転送データ]	転送データを印刷します。

[管理者設定]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[コマンドモード]	-	コマンドモードの種類を選択します。
[日付形式]	-	時計の日付形式を選択します。
[時刻形式]	-	時計の時間形式を選択します。
 [言語]	-	画面の言語を選択します。
[単位]	-	表示されている設定の測定単位を選択します。
[初期化]	[工場出荷状態に戻す]	通信設定や本体設定など、プリンターのすべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。プリンターに保存されているテンプレートとデータベースも削除されます。
	[登録データ初期化]	すべての本体設定をお買い上げ時の設定に戻します。プリンターに保存されているテンプレートとデータベースも削除されます。
	[ネットワーク初期化]	通信設定をお買い上げ時の設定に戻します。
[通信用電波の遮断]	-	機内モードをオン、またはオフに切り替えます。 オンに設定すると、WLAN アイコンと Bluetooth アイコンが画面に表示されなくなります。
[日時表示有無]	-	画面に日時を表示するかどうかを選択します。

設定項目 1	設定項目 2	説明
[ヘッドチェック]	-	印字ヘッドの状態をチェックします。
[ロック]	-	プリンターの画面から変更できないようにするオプションのチェックボックスを選択します。 チェックボックスを選択したら、▲または▼を押して[完了]を選択し、 OK を押して設定を完了します。 メニューロックが設定されている場合、選択できない項目にロックアイコンが表示されます。
[パスワード]	-	管理者モードに入るのにパスコードの入力を求めるかどうかを選択します。オンに設定した場合は、4桁のパスワードを指定します。

[有線 LAN]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[有線 LAN TCP/IP 設定]	-	TCP/IP の設定を指定します。
[有線 LAN ステータス]	-	有線 LAN の状態を表示します。

[無線 LAN]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[無線 LAN (On/Off)]	-	WLAN 機能をオンまたはオフに切り替えます。
[ネットワークモード]	-	WLAN 機能をオンに設定した場合に、ネットワークモードを選択します。
[WPS ボタンブッシュ]	-	近くの無線 LAN アクセスポイント/ルーターへの接続を試みます。
[WPS PIN コード]	-	プリンターの 8 桁の PIN を表示します。
[インフラ手動設定]	-	近くの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの SSID を表示します。 SSID を選択し、 OK を押すと、パスワード入力画面が表示されます。
[ダイレクト手動設定]	-	接続する無線 LAN アクセスポイント/ルーターの SSID とパスワードを手動で入力します。
[TCP/IP 設定]	-	TCP/IP の設定を指定します。
[接続アシスタント]	-	WLAN 接続アシスタント機能を使用して、無線ネットワーク設定を行います。
[無線 LAN ステータス]	[インフラストラクチャ] [ワイヤレスダイレクト]	WLAN の状態を表示します。

[Bluetooth]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[Bluetooth (On/Off)]	-	Bluetooth 機能をオンまたはオフに切り替えます。
[モード選択]	-	Bluetooth モードを選択します。
[BT バーコード印刷]	-	Bluetooth アドレスと、対応するバーコードを印刷します。
[Bluetooth 自動再接続]	-	自動再接続モードに切り替えます (Apple 製品の iPad、iPhone、または iPod touch のみ)。
[再接続先削除]	-	プリンターに保存されている自動再接続機器の情報を削除します。
[Bluetooth ステータス]	-	Bluetooth 機能の状態を表示します。

[用紙設定]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[用紙一覧選択]	-	用紙サイズと用紙種類を選択します。
[用紙自動検知]	-	セットされた用紙のサイズを検出します。
[用紙幅で選択]	-	セットされた用紙の幅を検出します。プリンター設定ツールで登録された用紙設定の中から、検出結果と一致する用紙設定を [用紙一覧選択] オプションに表示します。

[データ更新] (ネットワーク)

設定項目 1	設定項目 2	説明
[更新しますか]	-	プリンターが FTP サーバーに接続されている場合、およびテンプレート、データベース、その他のファイルを更新する必要がある場合にのみ使用できます。

事前にプリンター設定ツールの**通信設定**を使用して、FTP サーバーの情報を設定してください。

[データ更新] (USB フラッシュメモリー)

設定項目 1	設定項目 2	説明
[更新しますか?]	-	更新が必要なテンプレート、データベース、およびその他のファイルが保存された USB フラッシュメモリーをプリンターに接続した場合にのみ使用できます。

[カスタム QR]

プリンター設定ツールで設定されたカスタム QR コードを表示します。

✓ 関連情報

- ・ [プリンターを使用してプリンター設定を変更する](#)